



政

叔

灼多矣不養花街花

桃李雖然美不言不

然竟不笑不歌

言語笑歌其色

一過目則

傷魂其香一

鼻則飛心

陽加極霜露不

風雨不摧取之無禁

春秋晝夜莫時不芳

艸木花同榮枯哉艸木

賞之况於此花乎北州之遊鳴

艸木花同榮枯哉艸木花猶且

賞之况於此花乎北州之遊鳴

呼樂夫因以序

田舎老人多田翁謹書



目錄

發揚

附 卷の卷。毎の頁。紙の厚。土の。大門口。

中乃町

茶のけしき

膏を程

更て乃俵

志於めのまゝ

畢

發揚

こ  
ま

ま  
ま

外  
く

發悟

こまの こまの ちろ ちろ 柿 柿 皮 皮 じで じで こす こす 入 入 の の 男 男 が が す す じ じ あ あ ま ま の  
 と と げ げ の の 丈 丈 本 本 多 多 丈 丈 び び さい さい 八 八 咫 咫 け け こ こ つ つ へ へ 羽 羽 織 織 り。  
 幅 幅 の の 細 細 き き 竹 竹 の の 葉 葉 む む ぎ ぎ ぞ ぞ う う に に 細 細 身 身 の の 日 日 き き ば ば じ じ 括 括 ま ま へ  
 少 少 一 一 よ よ ぞ ぞ れ れ 黒 黒 羽 羽 二 二 寸 寸 の の 女 女 陰 陰 も も ち ち と と よ よ ぞ ぞ れ れ 小 小 袖 袖  
 ぬ ぬ り り ぬ ぬ ぎ ぎ 小 小 紋 紋 を を 垢 垢 の の 片 片 袖 袖 ち ち ら ら ぬ ぬ り り ぬ ぬ り り ぬ ぬ り  
 さ さ め め ぬ ぬ 縮 縮 緬 緬 の の 老 老 者 者 ぞ ぞ ん ん へ へ ぎ ぎ 少 少 く く と と する する 痛 痛 び び づ づ の  
 り り く く 下 下 袴 袴 や や ま ま ぬ ぬ 額 額 巾 巾 の の へ へ ぬ ぬ お お 鼻 鼻 紙 紙 袋 袋 へ へ ち ち ぬ ぬ

又人水菊の口折すにあらけ。我より外に色男の  
 かりとら。傍にありと。きろくと。えまのりて。あぐじ  
 色にぶらくと。終ひるや。二すぢむら。人地  
 よき柔和と。あつと。きど。五流に。編緬の  
 緬入羽織。ふつ故志ろくと。丹後橋の小社。あつと。お  
 糸と。茶。編緬の。あつと。琉球志原の袴。かうんきで。草  
 履と。き。供よ。あきの。風を。表け。みと。け。ね。とり。せ  
 麗子。か。う。て。き。

て。い。と。う。い。い。あ。さ。の。道。で。は。月。々。く。く。く。は。は。な。や

願ふかきりて其の

ていさういひ。あまの道でいひぬくくくははら

正燈寺へまゐるによつて角平とびゆまはら

はあんどままの世世久る通業の志い。あまで大大

きいぬいヤムおち少でぶんく。はらあがりがある

おしい色いろのりがい埋本とちらぬよろ。あましくおれおれ

扱でぜん二坊のちまを屋男と。揚巻わひの助六がやうんつ

くりあてまこまや。さらぬあつ。もんが。京伊豆本といふ

あまやどまへ毎日おれも。あまや。あまや。のろとあま

何トヨラ  
云舟ハ  
マシ  
テ  
ル  
ラ  
ト  
今  
カ  
ハ  
都  
原  
云

ちよまがの  
栲牙ふ。ちよつきり。ぐおげくり。さやく脚とまろい

まへ **新編の女扇** とお望をなせ。栲牙ふいござう

ゆもぐも一艘せうなんしやら。おつをやるゆもぐも。ごそりませ

ぬ **通** **若** りやさ栲牙ふむらりてよし **女扇** ぞらちと

で。ごそりゆもぐ **通** **若** どことへどあぞ。塚つかさく **女扇** づいへ

統と **女扇** くれみどどん **女扇** ざららも

一 **女扇** こいで **女扇** れよよ **女扇** ざらら **女扇** ざらら

仕やせんが。たらんぐ。ペ。やまら。たらも。べるんぐで。ござうや

も。ねんきと。と。と。二。ごまか。塚つかも。二。ごまか。あけて。ま



星舟  
星舟  
星舟  
星舟  
星舟  
星舟  
星舟  
星舟  
星舟  
星舟

まはくらふ。たぢまらでぼざんまは **通**者 せん

あらま一ぬくのこゆ一よ ○ と。い。て。ゆ。ら。ら。ぬ。ま。の。ゆ。ら。ら。ぬ。 無ざりふに三人のりたる。や

ふがはき。男に二人のれが。通者たるこののこやうに。ねりまこ

ありて。こまのくら。あがり人い。こままらて。教のゆゑ。ふんごうと

あといらうけらまら。そのまは **通**者 せん **通**者 せん **通**者 せん

みれが。あらあいやつご。あん中 **通**者 せん **通**者 せん **通**者 せん

二人 **通**者 せん **通**者 せん **通**者 せん **通**者 せん **通**者 せん **通**者 せん **通**者 せん

若 **通**者 せん **通**者 せん **通**者 せん **通**者 せん **通**者 せん **通**者 せん **通**者 せん

強地層 **通**者 せん **通**者 せん **通**者 せん **通**者 せん **通**者 せん **通**者 せん **通**者 せん

ま **通**者 せん **通**者 せん **通**者 せん **通**者 せん **通**者 せん **通**者 せん **通**者 せん







釣瓶  
名物

又  
肝  
胆  
名物

何<sup>なん</sup>ういふおれがゆいといやと来る。は才もきくらまやい  
 身<sup>み</sup>る共<sup>とも</sup>いませかかて為<sup>つる</sup>瓶<sup>びん</sup>をばのむとこまを名<sup>な</sup>て名<sup>な</sup>  
 みる。こまや大ぶあがひをいひやうしく首<sup>しゆ</sup>尾<sup>び</sup>のね<sup>い</sup>や  
 たいの二取<sup>と</sup>取<sup>と</sup>首<sup>しゆ</sup>尾<sup>び</sup>のね<sup>い</sup>のん<sup>ん</sup>やと名<sup>な</sup>よ通<sup>と</sup>り<sup>り</sup>  
 やと一通<sup>と</sup>取<sup>と</sup>方<sup>かた</sup>やとよ<sup>よ</sup>やと名<sup>な</sup>よあ<sup>あ</sup>や<sup>や</sup>け<sup>け</sup>名<sup>な</sup>  
 ぶ<sup>ぶ</sup>が<sup>が</sup>に<sup>に</sup>名<sup>な</sup>ぶ<sup>ぶ</sup>と<sup>と</sup>し<sup>し</sup>こ<sup>こ</sup>け<sup>け</sup>名<sup>な</sup>ぶ<sup>ぶ</sup>と<sup>と</sup>い<sup>い</sup>名<sup>な</sup>の<sup>の</sup>名<sup>な</sup>て  
 け<sup>け</sup>名<sup>な</sup>ゆ<sup>ゆ</sup>と<sup>と</sup>い<sup>い</sup>名<sup>な</sup>の<sup>の</sup>名<sup>な</sup>て  
 け<sup>け</sup>名<sup>な</sup>ゆ<sup>ゆ</sup>と<sup>と</sup>い<sup>い</sup>名<sup>な</sup>の<sup>の</sup>名<sup>な</sup>て  
 た。若<sup>わか</sup>原<sup>はら</sup>の男<sup>おとこ</sup>ぶ<sup>ぶ</sup>り<sup>り</sup>よ<sup>よ</sup>も<sup>も</sup>肝<sup>かん</sup>胆<sup>たん</sup>が<sup>が</sup>い<sup>い</sup>名<sup>な</sup>ぶ<sup>ぶ</sup>と<sup>と</sup>い<sup>い</sup>  
 事<sup>こと</sup>がある<sup>ある</sup>は<sup>は</sup>い<sup>い</sup>名<sup>な</sup>ぶ<sup>ぶ</sup>に<sup>に</sup>八<sup>はち</sup>十<sup>じゅう</sup>を<sup>を</sup>う<sup>う</sup>け<sup>け</sup>る<sup>る</sup>た<sup>た</sup>を<sup>を</sup>付<sup>つ</sup>き<sup>き</sup>あり

た。若原の男がうりよるも肝胆こんたんがめんぞんぶそいふ  
事がある。はな宮に八十五をうりいする。たせ付つがある  
が、おとがけとと大きな色来とそれゆへよけと客まぢ  
へいんあ。客まぢをぶらぶらして。きれとやどめ。こんさんだ  
それとおとがけむらつはまりして。たびく。色来とととが  
替れもつろくする。と竹たけの事がある。それに付つても。  
あつたらは男が。形かたちも作りが。ごもさる。ね。若原へ  
えいり飛とやあいと。かく。若原へ思おもはまうと。優うか  
どんとやほと。ごもさる。ふやど。ねとあひて。えけ

それと、もんと。しつときと、老さい。家わがやをりうりう、

のまッちやあひが、もうふたぶぬきあげて、さうぞさうぞ、

ゆると、かきいざんいざん、まやいとて、今けい人ちつと、

やうに。老さい。むきとわいわい、新まんな交が今けいの、

りりやうた。通と共共、新まんなが今けいの、

さぶては、ころの通と共共、若わかが今けいと、

せんども、魚いしの、魚いし、川がわ、浪なみ屋やの、雷らい同どうが、

あが、わさいよんて、魚いしふと、ゆら、是これうら、今けいと

さんちが、浪なみいよんて、何なにとりよも、さんちが、

あがわさひよんて年魚ふとよゆらと。是ううい合と  
いんちが。はなさいとぞ。何とりよも。いんちが。せいのかうい  
まよわで。法がさいとしんば。おまが九角かあらうへてお  
か。おんぐんやあうある。いんだ。おきあきれぞ。小んせ斗  
式分やどい。あうてかる。きれい。河榮泥のむりちとり  
をねん。いんち。あう人付やとあ。きれい。おまが銭乃あ  
けい。あうらうて。垂る。九角の亭まが。おれと。おやとい  
にようて。いんちでも。まうまにあうて。あうらうる。まうま  
も。おまのいんちあけい。そが。おまかふらうて。どかく

丸角ハ。ながい。ざんども十日やどの月よあうらへてや  
ろうと。ゆつこ。その日に皆かいじ無銭がすくかつかこみ  
よつて。三十日やどのめが。今にふよいくんききさ  
りつそ。かまをいう物来てかようゆら しとこ そつやど  
ど。私ワタシが實さうは舞りほと。どまどおまへはごま  
てわらく。おらんおまなまいう 通若 押つまえてい  
こく本をねねむむこ香の香のあいの むとこ あいさやうで  
は舞りほと。どまもたむこと。香の香のあいの のま  
は舞りほと。それでけあすらげんたむことのみあら

はたりのほども。どやもたむこと。天のま人のつらいついで

けり。うづも。それではるずらぐんたむことのみみら

どうとあまさん。ふむこ入ぬ。あーらんどうはたりのほ

とむら。どあぞ。はまきまてはかゝめてりされませ

**通**若んえこ入の場安でりてかきと。とんごやよ

さらさぎある。それをちらん。さんまね。場安めも

おれと一つきまねおと。とんごひけねい。うゑま

きせりい。どあきてもほきあがえりふよ。とんごまね

めりある。むむと。せんど柳ままね。あいやた。とんご



の奥とどろくはやうで、名もあつた、あつたが事から。どうも志ふふめ、お指表よくある、ひらこい  
どろで、お平人のまゝとみてお付もめてらう、いませ  
**通者** そんなら、おれが番町の番の字とみて、番  
系とつけよ。後<sup>のち</sup>もや、おまごがやうに、方<sup>かた</sup>く、番系を  
くといふやうにあら。まゝはゆて、いほがある、け中  
中の町のお屋のうせで、おれが、ごんで、きれある、形<sup>かたち</sup>で  
おらるん。ゆきぎせらで、いむこと、香<sup>のん</sup>で、わりと。その  
そばは、浄<sup>きやう</sup>なる理<sup>り</sup>と、いふ東<sup>とう</sup>洲<sup>しゅう</sup>が、あつて、いふして、いふ



ほんとして。これはゆゑにせんせんといひて。まておろ

客がめいこそつて。そこを。今來てこの人ひつて

新造といひて。おかけ人まづまつて。そゝら

がなへ。志のびこみのくごうごとも。志まいた。そゝら

個々ちがひとて。まよまよ物なる。物なるといふ。志よ

ての。新造しんぞうに引ひきて。こゝこゝゆゑのうへ。しそしそ茶ちや

ばらばらり何なに々々とて。後ご一いつをいよ。おらおらぶらぶらここもの

志のめ。さんさんとめめささるめめ分ぶんははで。かかををめめる。さんさん

きんきんいい是この男おとこのの弟あに志しややねねいい。おおららがが志し系けいハハさんさん

とふまゝとまゝどこれの坊のありまゝいふあどそ。ソヤくよう

くツクとそツクあツク **船政** であくあわぐるま方さるや **通**

**共** おん **ん** ん **そ** そ **ぎ** ぎ **げ** げ 一川屋よおらうんハ勿備おらうんなりがあま。若津也

のきあめい。うぬがまていまくし。であま志ようあまこれ

けおろあろとあろ。山本のまぶまぶ丹丹と大長さいとんと和和りつてあ

ふ宿宿がある **船政** であく。はけまま **通** 共 **そ** そ **ん**

たら山本の。さんさん **橋** つ **つ** つ **け** け **ろ** **船政** 山本屋く

**山本** や **と** と **あ** あ **ど** ど **そ** そ **ろ** ろ **あ** あ **お** お **ろ** ろ **と** と **そ** そ **あ** あ **ら** ら **い** い **あ** あ **お** お **て** て **け** け **お** お **り** り **ま** ま **ん** ん **あ** あ **お** お **ろ** ろ **と** と **あ** あ **ま** ま **せ** せ **あ** あ

あおづらあいい。あおあててけけおおりりままんん。ああおおづづららととああまませせああ

山幸や そあどあさうあおあさうさうさあ

あわづらしい。あおてあなうまひ。ああづらさああまさせあ

あちちうへ付れよ通あちちうへもト

くとほつとわがわ山幸や一やうまづあわさああまさせ通

二人とも山幸あまあまあま山幸やあまあまあま

さんといひあうた。せんとあさまんどあ水道橋まで。あうたあ客

だ通あこれらうへあまあま。あまやんまよ。あまさん。ま

けさあが。あけいせあうるんてあんせ山幸あんあ

あまうあせん通あまのあま。あまあ。あまあ。あま。

あまあ。あまあ。あまあ。あまあ。あまあ。あまあ。あまあ。あまあ。





菅原  
道隆

東<sup>とう</sup>がーと。あつたまやい。あらが四<sup>よ</sup>の雅<sup>が</sup>十<sup>じゅう</sup>のめ<sup>め</sup>  
 次<sup>つぎ</sup>も<sup>も</sup>平<sup>へい</sup>江<sup>え</sup>も。あつた<sup>あ</sup>りん<sup>りん</sup>ごう<sup>ごう</sup>ら。誰<sup>たれ</sup>に<sup>に</sup>あ<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>う<sup>う</sup>も  
 す<sup>す</sup>き<sup>き</sup>ご<sup>ご</sup>。それ<sup>それ</sup>は<sup>は</sup>河<sup>か</sup>東<sup>とう</sup>が<sup>が</sup>け<sup>け</sup>ご<sup>ご</sup>う<sup>う</sup>の<sup>の</sup>お<sup>お</sup>が<sup>が</sup>の<sup>の</sup>ま<sup>ま</sup>て<sup>て</sup>。あ<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>が<sup>が</sup>四<sup>よ</sup>  
 來<sup>き</sup>て<sup>て</sup>秘<sup>ひ</sup>て<sup>て</sup>あ<sup>あ</sup>り。それ<sup>それ</sup>は<sup>は</sup>平<sup>へい</sup>江<sup>え</sup>の<sup>の</sup>糸<sup>いと</sup>口<sup>くち</sup>所<sup>しよ</sup>と<sup>と</sup>改<sup>か</sup>名<sup>な</sup>志<sup>し</sup>と  
 志<sup>し</sup>れ<sup>れ</sup>も<sup>も</sup>舍<sup>しや</sup>の<sup>の</sup>あ<sup>あ</sup>み<sup>み</sup>が<sup>が</sup>あ<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>毎<sup>まい</sup>日<sup>にち</sup>來<sup>き</sup>る<sup>る</sup>よ<sup>よ</sup>通<sup>と</sup>り<sup>り</sup>共<sup>ども</sup>  
 に<sup>に</sup>あ<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>し<sup>し</sup>け<sup>け</sup>會<sup>あ</sup>ひ<sup>ひ</sup>り<sup>り</sup>も<sup>も</sup>う<sup>う</sup>る<sup>る</sup>さ<sup>さ</sup>い<sup>い</sup>の<sup>の</sup>ご<sup>ご</sup>掬<sup>す</sup>あ<sup>あ</sup>む<sup>む</sup>り  
 も<sup>も</sup>大<sup>だい</sup>ぶ<sup>ぶ</sup>た<sup>た</sup>ま<sup>ま</sup>ら<sup>ら</sup>て<sup>て</sup>あ<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>ぞ<sup>ぞ</sup>。そ<sup>そ</sup>う<sup>う</sup>こ<sup>こ</sup>う<sup>う</sup>の<sup>の</sup>い<sup>い</sup>さ<sup>さ</sup>ら<sup>ら</sup>に<sup>に</sup>是<sup>これ</sup>  
 の<sup>の</sup>夜<sup>よ</sup>故<sup>こ</sup>坂<sup>さか</sup>や<sup>や</sup>ら<sup>ら</sup>る<sup>る</sup>と<sup>と</sup>あ<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>古<sup>こ</sup>風<sup>ふう</sup>よ<sup>よ</sup>あ<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>ず<sup>ず</sup>い<sup>い</sup>づ<sup>づ</sup>ん<sup>ん</sup>夜<sup>よ</sup>  
 故<sup>こ</sup>を<sup>を</sup>は<sup>は</sup>く<sup>く</sup>ら<sup>ら</sup>う<sup>う</sup>が<sup>が</sup>あ<sup>あ</sup>い<sup>い</sup>。あ<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>あ<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>。あ<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>づ<sup>づ</sup>ら<sup>ら</sup>に<sup>に</sup>て<sup>て</sup>



さう志やいむとこふ田原屋といふては有りま

**通老**あ、又が有りよ、おのりへ。おまごいりさらうら

おろさおくそりりは志よ、おぼつこそりりハ茶屋ハ女房ひよりる後はお

おんまごふで。ございと茶女おあさん、おあさん

なんー **通老**あがりまうよ、と。ぼつと。あがり。戸せのまん申へ大あがらまて。す

大ぶ今夜へ志づぐこの女房いゑまご二階かいはお客きやく

がゆ有りま、**通老**いりでも、はぎやうで。おいまご

の。ひさしゆりで。おのりハきおまご。おまごも、女房ハおん

女房おまごつけ。さうら。おまごも、おまごも、おまごも、おまごも



先  
後

次身のてゆなりま **通**者の筆を。 **通**者の筆を。 **通**者の筆を。

て。 **通**者の筆を。 **通**者の筆を。 **通**者の筆を。

おらが右へ来り。 **通**者の筆を。 **通**者の筆を。 **通**者の筆を。

款志。 **通**者の筆を。 **通**者の筆を。 **通**者の筆を。

通者。 **通**者の筆を。 **通**者の筆を。 **通**者の筆を。

ゆら。 **通**者の筆を。 **通**者の筆を。 **通**者の筆を。

ゆら。 **通**者の筆を。 **通**者の筆を。 **通**者の筆を。

ゆら。 **通**者の筆を。 **通**者の筆を。 **通**者の筆を。

ゆら。 **通**者の筆を。 **通**者の筆を。 **通**者の筆を。

○は片をすてアうに何少て  
今れ丸河東が基て移て

わらうら。若あ人けり。あゆもさういとゆるされた。

ぶあうあやう。若原よりバどろぞ。移てわらういと

ゆそて。いらさけ **女房** 河東をえり。ゆさくから。こち

へ。移てゆさりまに **通女** 河東が。 まきもとほほじ

あて。そて。ぞん。い。やあ車 **魂祐** とやあいう。 まきのどろそふを

ほろして勝んまき まきもとほほじ **家や男** 移てさほ。あま

何う。移しありのので。ゆさりまに。大いあいう

とて。移て。あまをぬり **女房** 移さ。移れもど

おひよ。何なには志しろだんを。取とら。志しろを。さら。る。る。

やうに。さん。志しろ。る。る。ま。あ。と。し。ま。せ。い。の。ま。り。ど。ん。お。

つ。志しろ。い。も。一。又。は。と。あ。の。後うけ合あ引ひき。う。お。う。う。あ。

さ。ら。志しろ。る。あ。お。ら。い。二。階うゑの。客きやく人にんの。方かたへ。お。ら。ら。平ひら

さん。と。川かわ。さん。が。は。ら。う。ら。ら。あ。の。ぬ。ら。り。と。い。中ちゆうの

ま。へ。お。の。お。れ。へ。ち。や。く。志しろ。さ。ら。志しろ。あ。の。い。へ。わ。ら。る。

**むきこ**。あ。の。お。肩かた。の。お。手て。を。志しろ。相あが。う。く。ま。い。と。や。ご。ご。

と。ま。せ。ら。り。 **通考**。さ。し。ば。も。ま。ま。と。ざ。ん。と。い。は。ま。き。の

つ。の。内うち。で。何なにも。ま。ら。て。も。志しろ。あ。い。よ。あ。の。あ。志しろ。志しろ。で。わ。ら。

はまの女房の御手紙を御覧のりて

てませぬら **通者** さればこそ事ごとせんといはきこの

ついでに。何れもなつても。若らあいなあ。教えてわら

まへ。今よいから。が。本れがよみ。こふ。志てわらぬよ

志をよめて。わらう。め。と。又とらう。く。り。あ。り。て **客平** を

男ゆり。大き。人。極。う。合。び。ん。ゆ。て。足。羽。二。ま。の。あ。ら。ま。き。ゆ。神

馬。端。福。又。布。故。向。く。と。難。端。福。の。あ。か。ぎ。き。た。か。ね。大。き。ま。声。よ。て

は。亭。ま。へ。よ。ゆ。ら。れ。さ。う。○ 臺。而。より。器。い。初。う。け。出。く。の。め

物。を。穿。し。ぬ。通。り。者。の **通者** ぞんざい。あ。お。ら。な。れ。ご。○ づ。い。者。の

只。に。づ。い。者。の。足。さ。さ。る **平** ち。と。お。ま。ら。ら。ゆ。ま。を。む。こ。こ。に。づ。い。お。ま。ら。ら

と。と。ろ。ろ。ろ **づ。い。者** ち。と。お。ま。ら。ら。ゆ。ま。を。む。こ。こ。に。づ。い。お。ま。ら。ら

ふでこい。中の町へ中物もめてらるま也 **通** **者** ござん

吉世来く〜これ色男。ごらちへ。来のち回楽く

と。まされ  
と。りの **つ** **い** **若** 五りち紅客人  
平のまへに物で ちん分相とそうはるなり

ま〜 **平** **内** **亭** **主** **い** **は** **ぶ** **ご** **ら** **心** **志** **や** **う** **へ** **つ** **い** **若** **只** **今**

二階より降りました。おまちやておりゆ〜とや。さるう

やゆよ **平** ちん分いそがしとさる **通** **者** くれ色男

こせの客とんさん志やい。おつららぬられずと。ぬら

る者いあるまいとやあいなあいなあのとつて。おいら

と〜とら。女房のんども。おねらとら〜。む〜とら〜とら〜とら〜

る者ものいあるまじやさいらあひのとりておら

とづから。女めのいでもおれらとて。むとこいふをよ

女め 二階より大ぶあをよゆなりゆ二平とよ

で。おのいであろ。今日けふは役やくのあでちんぎ一いち後ご係けい事じで

香かうけいいと。志して。かこらら。亭てい主しゆのつえらられれ。あ

た。女め さんさうでゆゆなりまままよ。今日けふのいままささ

けけのいみみととでゆゆなりゆととななららて。外ほのいまま

でい。ああちちぐぐららちちて。自ま身みにおてまりゆととれ

でも。おお目めわわくくをはして。よよははなりきた。川かのいまま



ふんでは有りませんでしたのふゆりせんから。あつまは。

大きな。ゆり付て。あつまは。[平]んまいあ〜。ぞや

た。実まことる女おんなに。あつまは。のよよ [女]ふらんがあら

やど実まことる人ひとに。あつまは。あつまは。[平]これ

こま事ことトや。あつまは。氣きのままねやトや。あつまは。実

る。あつまは。又また何なにやら。あつまは。のトや。あつまは。

あつまは。いいふと一ひとをいいままよ [女]一ひとあつまは。

あつまは。[平]これこれいいままいい。今日けふ一日いちにちよよあつまは。

るけけいいあつまは。あつまは。あつまは。あつまは。

志を。例<sup>れい</sup>乃<sup>の</sup>大<sup>だい</sup>物<sup>ぶつ</sup>とく。女<sup>にょ</sup>座<sup>ざ</sup>とくういしはま志<sup>し</sup>よふ

さうて。女<sup>にょ</sup>者<sup>しや</sup>へ勝<sup>かつ</sup>つて。志<sup>し</sup>をたますいめといはる。通<sup>と</sup>者<sup>しや</sup>。志<sup>し</sup>をたますいめといはる。通<sup>と</sup>者<sup>しや</sup>。志<sup>し</sup>をたますいめといはる。

女<sup>にょ</sup>座<sup>ざ</sup>とくういしはま志<sup>し</sup>よふ。志<sup>し</sup>をたますいめといはる。通<sup>と</sup>者<sup>しや</sup>。志<sup>し</sup>をたますいめといはる。

女<sup>にょ</sup>座<sup>ざ</sup>とくういしはま志<sup>し</sup>よふ。志<sup>し</sup>をたますいめといはる。通<sup>と</sup>者<sup>しや</sup>。志<sup>し</sup>をたますいめといはる。

女<sup>にょ</sup>座<sup>ざ</sup>とくういしはま志<sup>し</sup>よふ。志<sup>し</sup>をたますいめといはる。通<sup>と</sup>者<sup>しや</sup>。志<sup>し</sup>をたますいめといはる。

女<sup>にょ</sup>座<sup>ざ</sup>とくういしはま志<sup>し</sup>よふ。志<sup>し</sup>をたますいめといはる。通<sup>と</sup>者<sup>しや</sup>。志<sup>し</sup>をたますいめといはる。

女<sup>にょ</sup>座<sup>ざ</sup>とくういしはま志<sup>し</sup>よふ。志<sup>し</sup>をたますいめといはる。通<sup>と</sup>者<sup>しや</sup>。志<sup>し</sup>をたますいめといはる。

女<sup>にょ</sup>座<sup>ざ</sup>とくういしはま志<sup>し</sup>よふ。志<sup>し</sup>をたますいめといはる。通<sup>と</sup>者<sup>しや</sup>。志<sup>し</sup>をたますいめといはる。

女<sup>にょ</sup>座<sup>ざ</sup>とくういしはま志<sup>し</sup>よふ。志<sup>し</sup>をたますいめといはる。通<sup>と</sup>者<sup>しや</sup>。志<sup>し</sup>をたますいめといはる。

甲子 乙丑 丙寅 丁卯 戊辰 己巳 庚午 辛未 壬申 癸酉 十一日 十二日 十三日 十四日 十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日

やうきりのそんらん志まをて公儀事 女座 志まのこれい

と。たくりのて **通** 共 おもく ままご用があら。松葉屋の澤と衣

と。きい。やうて下さい **女座** のむこまん うわ付あて とりて 志まあへてい

澤とあさんへ。おまらうはなりまは。さんまき。むらふ

のゆよおおさん志ま **通** 共 さをぞこに。志まらうを。丁

子座よ志まらう **女座** すて 角町に。志んまをぞはなりま

まが。おおさんへ。ごろうじません **通** 共 角町のさ

まい むここれ ちうしんか。志まのなへいらう。あまんぞふ

笑でハ。氣がはまるぞ **女座** まあ 志まをほお後くぬ

て。いろうじませ **通** 共 さんあも志ら。挑灯付じて ちやんつけ



大なる繁<sup>くま</sup>と云<sup>い</sup>所謂<sup>い</sup>本<sup>い</sup>多<sup>い</sup>子<sup>い</sup>う<sup>い</sup>と<sup>い</sup>の<sup>い</sup>女<sup>い</sup>房<sup>い</sup> あ

さうで。世<sup>い</sup>多<sup>い</sup>り<sup>い</sup>ま<sup>い</sup>に。何<sup>い</sup>々<sup>い</sup>志<sup>い</sup>な<sup>い</sup>ま<sup>い</sup>を<sup>い</sup>ら<sup>い</sup>り。お

志<sup>い</sup>の<sup>い</sup>今<sup>い</sup>と<sup>い</sup>くら。あ<sup>い</sup>い<sup>い</sup>ら<sup>い</sup>が。志<sup>い</sup>少<sup>い</sup>く<sup>い</sup>う。世<sup>い</sup>ご<sup>い</sup>わ<sup>い</sup>ん<sup>い</sup>と 未<sup>い</sup>が

世<sup>い</sup>よ<sup>い</sup>い<sup>い</sup>の<sup>い</sup>氣<sup>い</sup>と<sup>い</sup>り<sup>い</sup>て。又<sup>い</sup>ら。ほ<sup>い</sup>り<sup>い</sup>志<sup>い</sup>や<sup>い</sup>ど<sup>い</sup> 女<sup>い</sup>房<sup>い</sup>

き<sup>い</sup>で<sup>い</sup>世<sup>い</sup>多<sup>い</sup>り<sup>い</sup>ま<sup>い</sup>に 平<sup>い</sup>や<sup>い</sup>ら<sup>い</sup>と<sup>い</sup>新<sup>い</sup>所<sup>い</sup>を<sup>い</sup>色<sup>い</sup>に<sup>い</sup>又<sup>い</sup>と<sup>い</sup>わ<sup>い</sup>る

の<sup>い</sup>が<sup>い</sup>あ<sup>い</sup>る。こ<sup>い</sup>れ<sup>い</sup>へ<sup>い</sup>今<sup>い</sup>表<sup>い</sup>の<sup>い</sup>わ<sup>い</sup>て。ち<sup>い</sup>と。な<sup>い</sup>ま<sup>い</sup>ん<sup>い</sup>の<sup>い</sup>も<sup>い</sup>こ<sup>い</sup>せ<sup>い</sup>る

も。面<sup>い</sup>白<sup>い</sup>か<sup>い</sup>ら<sup>い</sup>う<sup>い</sup>で<sup>い</sup>い<sup>い</sup> 女<sup>い</sup>房<sup>い</sup> <sup>あ</sup>ん<sup>い</sup>さ<sup>い</sup>と<sup>い</sup>い<sup>い</sup>。お<sup>い</sup>し

き<sup>い</sup>ん<sup>い</sup>。私<sup>い</sup>元<sup>い</sup>が<sup>い</sup>大<sup>い</sup>て<sup>い</sup>い<sup>い</sup>。さ<sup>い</sup>ん<sup>い</sup>ぎ<sup>い</sup>い<sup>い</sup>と<sup>い</sup>は<sup>い</sup>事<sup>い</sup>ト<sup>い</sup>や。世<sup>い</sup>多<sup>い</sup>り

ま<sup>い</sup>せん。せ<sup>い</sup>ん<sup>い</sup>ご<sup>い</sup>も<sup>い</sup>。ち<sup>い</sup>と<sup>い</sup>と<sup>い</sup>い<sup>い</sup>戸<sup>い</sup>町<sup>い</sup>ま<sup>い</sup>で。お<sup>い</sup>付<sup>い</sup>合<sup>い</sup>合<sup>い</sup>。お<sup>い</sup>お

ま<sup>い</sup>せん。せ<sup>い</sup>ん<sup>い</sup>ご<sup>い</sup>も<sup>い</sup>。ち<sup>い</sup>と<sup>い</sup>と<sup>い</sup>い<sup>い</sup>戸<sup>い</sup>町<sup>い</sup>ま<sup>い</sup>で。お<sup>い</sup>付<sup>い</sup>合<sup>い</sup>合<sup>い</sup>。お<sup>い</sup>お

外<sup>い</sup>に<sup>い</sup>い<sup>い</sup> 世<sup>い</sup>多<sup>い</sup>り<sup>い</sup>ま<sup>い</sup>に <sup>あ</sup>ん<sup>い</sup>さ<sup>い</sup>と<sup>い</sup>い<sup>い</sup>。お<sup>い</sup>し

茶  
女  
長  
女  
ナ  
リ  
ハ  
リ

さんまのきん。よてい。やのほしくつ。事でのほきり

ませんれく。そのうゆ。新どう。気が。おむいふ。お

さんま。そう。おむいふ。新 **平** おむいふ。おむいふ

**新** どう。おむいふ。おむいふ。おむいふ。おむいふ **平** りや

いげい。いげい。公のおむいふ。おむいふ。おむいふ。おむいふ

おむいふ。おむいふ。おむいふ。おむいふ。おむいふ。おむいふ

おむいふ。おむいふ。おむいふ。おむいふ。おむいふ。おむいふ

おむいふ。おむいふ。おむいふ。おむいふ。おむいふ。おむいふ

おむいふ。おむいふ。おむいふ。おむいふ。おむいふ。おむいふ

知  
モ  
リ  
コ  
ト  
モ  
リ  
コ  
ト  
モ  
リ  
コ  
ト

七





あん志で。おおさん。は。膳ごせんの志くも。い。じ。して。おき

ん志。平びやう。お。く。中ちゆう。く。飯いひ。不ふ。で。い。さ。い。さ。く。ま。り

たいたい。と。り。て。と。お。腰こし。と。片かた。ち。ん。を。ね。ま。き。く。け。お。ま。り。す。る。袖そで。み。に

帯おビ。の。と。け。こ。と。結むす。ひ。が。ら。い。て。彰あき。ぎ。う。い。つ。で。も。い。く。出で。さ。り。志。お

と。せ。じ。し。あ。い。ま。あ。ま。ら。ん。一。女おんな。肩かた。を。さ。く。お。ち。や。う。ち。ん

と。付つ。ら。ヤ。お。ぎ。う。の。が。ち。ご。い。い。い。じ。ま。せ。ん。う。平びやう。ま

履ひ。で。あ。ろ。で。い。さ。い。さ。く。け。い。い。く。け。お。ま。り。一。女おんな。肩かた。を。さ

かんかん。し。く。ら。ち。い。い。け。一。女おんな。肩かた。を。さ。く。お。ち。や。う。ち。ん

挑てう。灯とう。と。又また。お。く。へ。お。け。一。女おんな。肩かた。を。さ。く。お。ち。や。う。ち。ん

ゆき。さ。ふ。い。す。り。











たをこぼしんる  
さあしく死がなそ面かき向くあいでいひうきんとけぬこで

まはそふでいひいひみあくよふはなりのはまのう空

とく。おれをうりぐいんもか呑くふご。おとよめ。お秀うた

と。呼よひやらんう空只今うまふふてはぶらま

客あ今う来の後らはあ大お姫きよらあうらだ。さうきさ道ちで

呂ろ別べ小ちああさ。これこもも来こよよとといいささ。これこでで今い来き

のの友ともとと呼よんん。ああががおおれれがが粹すいどどやや呂ろ別べがが来き

かかららにに友ともとと来きににううここををららいいにに来きににおおりりああくくささいい。

よよんんとと呼よんん 空ああららどど万ま事じににああののままららににおおんんがが







あられよらんを **まろく** 旦那い大ぶお解さるる体

更の俵

おちんちん **平** 中 今 兼も 又 げ けう を せ ま い 正 ぞ う く

いらねと。いらそのま 祿 ぞうぞ ち 酔 も さ め る ち ら ち

ん 祿 よ め ぞ。 **平** 祿 入 れ せ ぞ ぬ 祿 入 れ せ ぞ ぬ 祿 入 れ せ ぞ ぬ

おちんちん **平** う う ころく 三 味 線 と ら げ ぞ ち ら ち

こ ち 祿 多 人 **平** う う ころく 三 味 線 と ら げ ぞ ち ら ち

又 ち ら ね ん ぞ **平** ち ら ち ころく 三 味 線 と ら げ ぞ ち ら ち

いらん。ちろく。ちろく。 **平** ちろく。ちろく。ちろく。ちろく。ちろく。

Red marginal notes in the top right corner, including characters like 'シツク' and 'ハシラカ'.



サビミナキ  
マハツシテ  
クリヤ法

世の中をといひてん志をくら。いごせ中事ハぬせん

おろとまで。かかん平今にあらう新たらし今

おかしんと。亂と短くせはと。もちわと。かかん平

平でもわしと。おもしろ。まへ今身なると。まへよこあ

**隣** 宮の田舎 度。女中の新と。たまのく後てある  
とておても。これもある。むしりぶとに。あ、おし

く。かみまぐと。たてこかんと。いかりぬて。せうと。おて。よやくと。つり  
に。さきくら。おことと。とく。時があらんと。やくと。松と。ほちく

と。ちまき **度** 度。と。おきさい。た。事があ

松しと。火と。あがら。おきさい。 **新** こ かん

と。おしと **度** 何れもせ。ちと。おきさい **新** おき

上

よくいざりきんと **彦政** 骨うら大体おろした

あつちやきい **彦政** 七ツまでもある **彰考** あやうぶと  
ゆいわけ

方このすままと **彦政** 東が明くとも **彦政** あやうぶと  
ゆいわけ

東のゆん **彦政** 七ツと赤て **彰考** あやうぶと  
ゆいわけ

とまんせんからで **彦政** せんと **彰考** あやうぶと  
ゆいわけ

あつ **彦政** ても **彦政** あやうぶと  
ゆいわけ

うら **彦政** あやうぶと  
ゆいわけ

**彰考** あやうぶと  
ゆいわけ

あやうぶと **彦政** あやうぶと  
ゆいわけ





新や。茶ぼらせろ **新** 何けづらせろと久 **通**

**忠**

そんなの。おれほどと。おや。おそくおやあろう

色男ちろう茶ぼらせてかこをやまへい。 **む**

よう **お** けりはえよ **お** もう **お** けりあんどのえ

**む** **お** けり **お** もちらと。おらんせ。まじくおや。お

ばん **通** **お** もー **お** けり **お** けり **お** けり **お** けり

**お** **お** けり **お** けり **お** けり **お** けり **お** けり **お** けり

や **お** けり **お** けり **お** けり **お** けり **お** けり **お** けり

や **お** けり **お** けり **お** けり **お** けり **お** けり **お** けり

や **お** けり **お** けり **お** けり **お** けり **お** けり **お** けり

行の  
イロ  
エリ  
エリ

毎中  
カ  
カ  
カ

カキをんせ。あがわけんを **通**老け 影ハおまじと

人間じんかんどやまいと。あふさうあ **影**その影がうら

から。さうさうて。あつんせん **通**老 それい。さうと

奥おくを女めらえい。おとばけとまそくたさう **影**

**影**あいらそふ。さうまんま。うらば。あや。そんま。ね

うら。あらん。い。まんま。 **通**老 さうさうさう

の。それでも廊下ろうかを女めらえい。よ。あ。あ

と。い。あいらせま。 **影**あいらも。さうま。さう

んま。あいら。あいらのあまうら。さうま。さうま。



志のかが...

隣

平 ありなまの。雪あらの口まがりや

少くしとま。さらきくも。くぐまのわくま

大ぶらるる。 志のかが 井つけん

まふにきんま。げやなはし。よくまらんをま

まふ 平 入休のくろくまや。きんせん

青のら。わつやと。おんがゆつて ま せり ま

わ。あふくろてあまの。新やうと ま せり ま



